

平成29年度 全国学力・学習状況調査公表

<国語A・B>

○ 良くできている内容

【国語A】

- ・ 「文脈に即して漢字を正しく書く」は全国平均よりも約15ポイントも高い。分類別に見ると、全てが全国平均を上回っている。

【国語B】

- ・ 2問を除き全国平均よりも高い。なかでも、「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する」と「表現の仕方について捉え、自分の考えを書く」の正解率が高い。

○ 課題

【国語A】

- ・ 「事象や行為などを表す多様な語句について理解する」と「助詞の働きについて理解する」が課題である。

【国語B】

- ・ 全国平均よりも下回った項目は「目的に応じて資料を効果的に活用し話す」と「集めた材料を整理して文章を構成する」である。

<数学A・B>

○ 良くできている内容

【数学A】

- ・ 「平行移動した図形をかくことができる」、「分数の乗法の計算ができる」の正解率が高い。特に「円柱の体積をもとめることができる」、「与えられた反比例の表において、比例定数の意味を理解している」、「平方四辺形になるための条件を理解している」は全国平均よりも約15ポイントも高い。

【数学B】

- ・ 全15問中13問が全国平均正答率より高い。特に、「与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる」と「問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる」の正答率が高い。

○ 課題

【数学A】

- ・ 「証明の根拠として用いられる三角形の合同条件を理解している」が課題である。合同条件を理解させるとともに、その計算を習得させる学習を行います。

【数学B】

- ・ 「筋道を立てて考え、証明すること」が課題である。日頃から、事象と問題の解決方法を論理的に考える力を身につける学習を行います。